

令和 3年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	千葉
	全体計画			経費区分	-	内線	3645
事務事業名	4292 子育て支援センター管理運営事業						
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課						
施 策	12020900 子育て環境の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030204 民生費・児童福祉費・子育て支援センター費					
	事業	020000 子育て支援センター管理運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
地域社会全体で子育てを支援する基盤の形成を図り、 地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。				子育て支援の拠点施設として、子育て家庭が抱える 育児不安等の相談窓口となり、育児支援のための各種 講座を開催。 また、保護者の繋がりを支援するための集いの場の 提供、子育てサークル等の活動に対して育成・支援を 行うなど子育て家庭のニーズに沿った事業を行い、子 育て家庭全般の支援を実施している。 ファミリー・サポート・センター事務局を置き、地 域全体で子育て家庭を支え合う基盤づくりに努めている。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
子育てに関する相談支援 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、すくすくパ パ、シルバー人材センター会員との交流、中高生との ふれあい事業等の講座やイベントを開催 移動式エアコンの設置	
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和2年度 決 算	令和3年度 予 算
事業費		8,696	11,883
特定財源	国庫支出金	2,732	2,718
	都道府県支出金	2,228	3,083
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,736	6,082
人員数(人)	正規職員	1.1	0.0
	嘱託職員	1.0	0.0
	臨時職員	1.0	0.0
人員コスト	正規職員	7,664.8	0.0
	嘱託職員	3,149.0	0.0
	臨時職員	1,678.0	0.0
	計	12,491.8	0.0
市民一人当たりの経費		0.4	0.2
総額		21,187.8	11,883.0

(単位：千円)

令和2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	12	各種講座の講師謝礼等117
10節 需用費	679	消耗品280、食糧費30、賄材料費29、医薬材料費3 ファミリー・サポート・センター活動報告書印刷費30
12節 委託費	10	シルバー人材センター庭木剪定委託18
14節 工事請負費	95	
18節 負担金補助及び交付金	73	ファミリーサポートネットワーク全国講習会参加費30
その他	7,827	郵便代8、電話料63、カーペットのクリーニング代等34、 ファミリー・サポート・センター補償保険加入保険料138、ほか

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	139	各種講座の講師謝礼等253
10節 需用費	627	消耗品226、食糧費30、賄材料費50、医薬材料3 ファミリー・サポート・センター活動報告書印刷費150 ほか
12節 委託費	20	庭木剪定委託料20
14節 工事請負費	0	移動式エアコン電気設備工事75
18節 負担金補助及び交付金	99	ファミリー・サポート・センター事業アドバイザー講習会等50、 地域子育て支援士二種養成講座 9
その他	10,998	郵便代8、電話料71、カーペットのクリーニング代37、 ファミリー・サポート・センター補償保険加入保険料147、ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	育児不安等を軽減するための相談・支援及び来館者の親子のつながりを支援する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	子育て中の親が、子育てに対する不安感や負担感を軽減し、子育てが楽しいと感じることができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	世代間交流や地域のつながりを通じ、子育て家庭を支えあう環境が定着している。 ファミリー・サポート・センター事業を推進し、子育ての相援助活動を支援できた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

子育て支援の拠点施設として、多様な支援事業を実施するほか、相談業務や情報提供を行い、信頼頼される事業となっている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>中央児童センターと併設のため施設が狭いなど課題があることから、移転による施設整備について市としての方向性を早期に示す必要がある。</p>		<p>子育て支援の拠点施設として、子育て中の保護者に集いの場や情報の提供、育児相談などを行い、子育て支援に努めた。 狭隘化などの解消のため、2022年度に新子育て支援センターを設置する予定で準備を進めている。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント